

八王子市市民活動支援センター
平成29年度事業報告

八王子市市民活動支援センター
センター長 大山 健三

はじめに

八王子市では、公募市民184名が参加して作成された素案に基づき、平成25年に市政の基本的な運営指針である基本構想・基本計画として「八王子ビジョン2022」が作成されてから5年が経過しました。その間、中核市への移行、そして市政100周年記念事業で次の100年に向けたビジョンを展望する様々な取り組みが行われました。そうした中、制度や社会環境の変化、ニーズの多様化もあり、今年度、「八王子ビジョン2022」の一部見直しのためにパブリックコメントが求められ改定が行われました。

一方、地域を包括的に支えようと様々な地域課題に取り組むテーマ型活動といわれる市民活動においても、こうした変化に対応し、その活動の成果を出していくことが求められているところです。中間支援施設としての八王子市市民活動支援センター（以下支援センター）の事業も、年度事業を評価と課題で振り返り次年度に活かす作業を毎年おこなっており、こうした作業を通し、ニーズや社会環境の変化に対応できる事業を進めていきます。

1. 企画運営会議の開催

四半期毎に1回開催しました。会議の目的は、支援センター四半期毎の活動報告並びに事業運営に関する事項を、指定管理者である八王子市民活動協議会（以下協議会）と協議、意見交換し支援センターの適正な運営やサービス機能向上を図ることです。

評価と課題

今年度は主に、将来のファンド事業における、資金支援事業に取り組むことや社会環境変化に対応した支援センター事業を検討するプロジェクトチームの立ち上げについて協議しました。

2. 各会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会したセンター会議を開催しました。会議の目的は支援センターの利用状況確認、各部活動報告及び予算執行状況の確認とともに業務全体及び各部門の課題や取り組みについて検討・意見交換を行い、課題の共有化等です。さらに、部門間の連携を深め、支援センターの総合力を高めるため、部長会や利用者対応の正確性を高めるため定期的に夜勤担当者との会議も実施しました。

評価と課題

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携、情報共有は不可欠で、会議内容が報告や確認が多くなる傾向にあるため、事前に資料を配布し、貴重な時間をできるだけ討議を通じて、ニーズに対応したサービス向上やセンタースタッフのレベルアップに役立てます。

3. 情報セキュリティ委員会

様々な実施事業をとおして市民や団体から、利用目的を明らかにしてお預かりしている個人情報適切に管理し、紛失、改ざん及び漏えい等の事故を起こさないことは、関係市民、団体との信頼関係の基本であり、また、八王子市の施設として市に準じる情報管理が求められていると認識しています。

評価と課題

法令や情報セキュリティマニュアルを遵守し、組織内のPDCAを回し、適正な情報管理に努めるとともに、可能な限り八王子市の指定管理者情報セキュリティーガイドラインに沿った管理を進めて行きます。

4. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化や信頼性の向上による市民活動の活性化、社会的認知の向上など、その自立支援のため、団体運営の基本（ミッション、運営、情報発信、会計）等、実務的内容で「NPOパワーアップ講座」を実施しました。また、「ゆめおりファンド事業」では引き続き情報開示を基本的条件として、寄贈を受けた物品を無償提供し、団体の資金負担軽減をサポートすることができました。また、団体運営の伴走支援として、ノウハウやスキルを生かして地域参加、社会貢献を考えている「人財」とサポートを希望する団体とのマッチング事業である「人財支援事業」は2年目を迎え、今年度も2団体のサポートをする事ができました。

評価と課題

「NPOパワーアップ講座」は団体運営基盤強化のベーシックなカリキュラムを守りつつ、効果的な講師の選定に勤めました。また、「人財」による団体伴走支援は2団体のサポートをすることができましたが、この事業はNPO活動を社会、市民が支える環境を進めるためでもあり、さらに人財、NPO、企業などと連携、交流を推進することが必要です。

5. 調査研究活動

市民活動に関する多様な相談に対応すると共に、効果的なサービスを提供するためには社会環境の課題やNPO、市民活動の実態把握が大変重要であり、スタッフが外部イベントや講習会等へ参加しスタッフのレベルアップに努めました。また、今年度も利用者満足度調査を実施しました。

評価と課題

調査結果は、スタッフに対して、コーディネート力を期待する声もあり、引き続きスタッフのレベルアップに努めます。「スタッフの対応」と「全般的な満足度」については、「満足」、「やや満足」を併せて99%に近い高評価をいただきました。

6. 八王子市環境マネジメントシステムへの取り組み

平成18年度から運用されてきた環境マネジメントシステム「LAS-E」は、今年度より八王子市役所環境マネジメントシステムへ移行しましたが、それぞれの組織や事業が環境配慮行動に取り組むことにおいては変わらないということで、引き続き支援センター内の基本的な環境配慮行動を行うとともに、支援センターの特性である団体活動サポートやネットワーキング事業を通して環境マネジメントに取り組みました。

評価と課題

環境活動に取り組む団体の活動紹介、情報発信をサポートすると共に、多様な団体が、環境の持続的保全を意識し、住み続けたいまちづくりにつながる活動が活性化することが必要と考えています。また、引き続き、企業や団体等の未利用の様々な物品を寄贈いただき、市民活動団体にリユースしていただく資源の有効活用としてのファンド事業も推進していきます。

7. 施設利用状況

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談	メール他
968	789	3,551	483	201	87	965	53	2,951	7	5,963
892	753	3,488	470	188	92	933	86	2,728	10	4,633

上段：平成29年度、下段：平成28年度 *添付資料参照：「平成28年度施設・会議室利用状況報告」

評価と課題

交流スペース、活性化スペースの利用コマ数は、昨年度に比べ112コマ増えました。その要因としては、平成28年度10月より、利用者の利便性を考慮し、会議室の予約受付を1ヶ月前から2ヶ月前に変更したことが考えられます。フリースペースは、簡単な打ち合わせに活用するなど、多くの方に気軽に活用いただいています。相談は、従来の窓口やメール、電話等に加え、専門相談やファンド部のプロボノワーカーによる人材支援など、多様な形で相談に対応しました。

8. 「指定管理者制度」モニタリング実施結果

実施事業における「市民サービスの向上とコスト削減」の検証を目的に行われている指定管理者モニタリングは「定量的評価」と「定性的評価」において検証が行われました。

評価と課題

結果は「事業計画の水準を満たしている」という“B”評価でした。市の評価として評価コメントは高い満足度を維持し、「満足」、「やや満足」が96.2%を占めるなど、多くの市民に満足度の高いサービスの提供やファンド事業での「人財支援」で具体的な成果を出すとともに、「はちコミねっと」の運営にあたり、団体への操作講習会の実施や団体からの情報発信の確認・承認作業など適切な管理運営に努めたとの内容でした。また、近郊の中間支援施設への訪問から得た知識やノウハウを支援センターにマッチした取組に発展させ、市民活動団体の更なる基盤強化及び活動の活性化につながる取組みへの期待が示されました。

9. 総務部の活動

(1) 相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方のもとスタッフ全員で対応しています。専門相談はNPO経営支援アドバイザー派遣制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

評価と課題

面談、電話、メール等による相談内容は、地域を包括的に支える仕組みづくりが求められる中、居場所づくり、子ども食堂、コミュニティカフェなどに取り組もうとする方々からの資金や場所探しに関する相談などがあつたことや、引き続き団体法人化の相談も継続しています。窓口相談業務を一步進めた伴走支援事業でもあるファンド事業の「人財」支援も実績を上げており、今後とも相談対応の手法の多様化、スタッフのスキルアップに取り組んでいきます。

(2) スタッフ外部研修（人材育成）

7月14日「NPOと行政の対話フォーラム」日本NPOセンター / 8月1日「目的に応じたワークショップ」新宿NPO協働センター / 10月31日「障害・障害者に対する知識、理解を深めるための職員研修」八王子市 / 11月26日「若い力と市民団体の連携を考えるシンポジウム」東京タウン誌会 / 11月29日「支援力アップ塾実務ステップアップ編・多様な人との協働の進め方」東京ボランティアセンター / 「伝えたい人の心に届くデザイン力アップ講座」新宿NPO協働センター / 2月11日「合理的配慮から見る相互理解」東京ボランティアセンター / 2月20日「全面施行！改正NPO法対応定款変更&登記手続き徹底解説セミナー」新宿NPO協働センター

評価と課題

相談対応やコーディネート力向上、効果的な講座開設を目的に、スタッフのスキルや知識の習得のほか、講座や講師との出会いを積極的に進めました。こうした知見を多様なセンター事業に生かしていきます。

(3) 対外対応

4月度

4月5日八王子市役所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会訪問 / 4月22日 Dr. 肥沼を後世に伝える会定例会出席 / 4月25日 NPO法人ひなげし開所式出席 / 4月25日八王子市環境マネジメントシステム説明会出席 / 4月26日八王子市モニタリング対応

5月度

5月14日第6回NPO八王子会議出席 / 5月18日NPO法人市民活動協議会平成29年度通常総会出席 / 5月19日社会福祉法人「評議員」説明会（東京都主催）出席 / 5月26日おひさま広場ネクスト「共通価値づくりのための連続ワークショップ」参加 / 5月27日八王子NPOフェスティバル出展 / 5月30日障害・障害者に対する知識・理解を深めるための職員研修出席

6月度

6月14日ファルマ802共同防火管理協議会出席 / 6月24日平成28年度市民企画提案事業補助金成果発表会出席 / 6月29日職場体験予定の柵田中学校生徒2名来館対応

7月度

7月4日パルシステム助成金説明会出席 / 7月10日創価大学「八王子学」講義への講師派遣 /
7月11日～13日梶田中学職場体験受入れ対応 / 7月13日地域参加支援に関する情報交換会出席
/ 7月14日NPOと行政の対話フォーラム`17出席、法政大学「グリーンヒル寺田の現状とこれから」
おひさまひろばネクスト出席 / 7月18日小林保険事務所来館対応 / 7月23日「はちおうじ志民
塾」プレ講座出席 / 7月28日7市・市民活動連絡会（日野）出席

8月度

8月1日市町村NPO・共助担当職員連絡会議出席（東京都ボランティアセンター主催） / 「目的に応
じたワークショップ」（新宿NPO協働推進センター主催） / 8月8日西武信用金庫八王子支店訪問
/ 8月18日モニタリング対応 / 8月30日府中市市民活動支援センタープラッツ訪問、異業種をこえ
て協働を考える交流会出席（主催：フードバンク八王子ワークス）

9月度

9月2日環境市民活動助成金セミナー出席 / 9月9日オトパ in 南大沢出展 / 9月13日富士通
デザイン(株)来館対応、消防設備点検対応 / 9月16日はちおうじ志民塾第9期入塾式出席 / 9月17
日「女性・若者・シニア創業サポート事業」セミナー出席 / 9月24日「明日の地域福祉を考えよう」
シンポジウム出席 / 9月27日「おとなのお手玉遊び大会」主催：八王子お手玉の会出席、防火対象
物点検対応 / 9月28日協働推進課来館対応

10月度

10月1日ドイツ・ヴリーツェン市長歓迎会出席（主催：Dr. 肥沼偉業を後世に伝える会） / 10
月3日小平市及びNPO法人小平市民活動ネットワーク来館対応 / 10月5日センター元気ボランテ
ィア入門講座講師派遣 / 10月14日シンポジウム「先進事例に学ぶ生活支援と住民の力」（主催：白梅
学園大学 - 小平学・まちづくり研究所） / 10月17日センター元気定例会にてファンド部「人財支
援事業」の紹介、協力要請 / 10月28日法政大学多摩シンポジウム「都市縮退時代の郊外を考
える」出席 / 10月31日障害・障がい者に対する知識、理解を深めるための職員研修出席

11月度

11月3日NPO法人エンツリー設立10周年記念会出席 / 11月8日八大緑遊会「芋煮会」出席 / 11
月9日全館防火訓練参加 / 11月9日中間支援組織向けコミュニティビジネス勉強会出席 / 11月
11日フェスタかたかご（主催：社会福祉法人由木かたくりの会）出席 / 11月12日話し合いを書き
こつ ～「板書」の基礎出席 / 11月16日NPO法人日本脳トレーニング協会来館対応 / 11月17日
八王子FM開局記念式典出席 / 11月17日モニタリング対応 / 11月18、19日いちょう祭り参加
/ 11月22日むかし若者作品展見学（主催：センター元気） / 11月25日「みんなで歌おう八王子」
100周年記念事業出席（主催：八王子生涯学習コーディネーター会）、「プロボノ×NPO交流会」出席 /
11月25日2017年度第2回明星大学学生ボランティア活動報告会&交流会出席 / 11月26日「若い力と市
民団体の連携を考えるシンポジウム」出席 / 11月28日「写真が語る八王子の平安時代から未来ま
で」薄井大還展鑑賞 / 11月29日まちづくりと女性の起業支援をつなぐワークショップ出席 / 11
月30日NPO法人フュージョン長池来館対応

12月度

12月5日八王子市拠点整備部中心市街地整備推進課来館対応 / 12月15日八王子市生涯学習スポー
ツ部学習支援課来館対応 / 12月15日創価大学文学部社会福祉専修コース岩川幸治講師（はちおう
じ志民塾9期生）のゼミの学生2年生～4年生（8名）来館対応 / 12月16日「我が事・丸ごと・
地域共生を進めよう」 / 12月20日「まちわいプロジェクト」スタッフ来館対応 / 12月21日八王
子市市民活動推進部来館対応 / 12月22日西武信用金庫街づくり活動助成金第一次審査会議参加
/ 12月23日吹田市立市民公益活動センター来館対応 / 12月28日八王子市市民活動推進部来館対応

1月度

1月4日西武信金街づくり助成金第一次審査参加 / 1月5日(株)八王子薬剤センター（ビルオーナー）
訪問 / 1月11日ウエルシア薬局(株)来館対応 / 1月13日はちおうじ志民塾第9期講座講師派遣
/ 1月16日「伝えたい人の心に届くデザインカアアップ講座」出席 / 1月17日地域参加支援情報交
換会出席 / 1月18日モニタリング対応 / 1月19日7市・市民活動連絡会出席（調布） / 1月19
日四日市市民文化部来館対応 / 1月25日環境マネジメント監査対応 / 1月27日シンポ
ジウム「地域福祉に応える市民力・地域力」出席、NPO法人八王子市民活動協議会新年会出席 / 1月
30日まちわいプロジェクトバレンタイン・ホワイトデーイベントに参加

2 月 度

2月1日東海高熱工業（株）訪問 /2月3日八王子市消費生活フェスティバル見学 /2月7日協働推進課来館対応 /2月8日長浜洋二氏（PubliCo 代表）来館対応（支援センター事業ヒアリング） /2月10日「NPO法制定20年これまでとこれから」フォーラム出席、ボランティアフォーラム TOKYO2018 出席 /2月11日ボランティアフォーラム TOKYO2018 出席 /2月15日拓殖大学学生支援センター野村氏来館対応 /2月16日区市町村ボランティア・市民活動センター長会議出席 /2月16日平成29年度大学コンソーシアム八王子学生企画事業補助金成果報告会出席 /2月17日「公園を市民協働で使い倒そう」フォーラム出席 /2月17・24日講座「ファシリテーションを学んで会議を活性化しよう」出席 /2月21日森 良氏（NPOエコ・コミュニケーション代表）来館対応 /2月24日第9期はちおうじ志民塾卒塾式出席 /2月25日平成30年新年顔合わせの会出席

3 月 度

3月1日エコ広場訪問 /3月4日「まちの担い手“が育つ”コーディネート研究実践報告会」参加 /3月10日オトパブス出展 /3月15日「わかさ家族会講演会」参加 /3月16日東海高熱工業（株）訪問 /3月17日、18日ファンドレイジング大会参加 /3月18日第2回地域食堂立ち上げシンポジウム参加 /3月20日「閉ざされたところが開くとき ～少年たちへのアプローチから見ること～」参加

評価と課題

支援センターは、来館の方々に必要な対応をすると同時に窓口や電話対応だけでなく、積極的に現場に足を運び、様々な方々や団体との交流により、ネットワークづくりや連携、協働の基礎づくりを進め、コーディネート力向上や支援センター認知度アップに取り組みます。

(4) 施設内備品の整備

利用者のサービス向上やスタッフ事務の効率化のため各種備品等を購入しました。

USBメモリー 1個 /ノルム2段ワゴン 1台 /ケーブルボックス 2台 /電動ポット3L 1台 /パソコン 4台

評価と課題

今後とも、予算措置を施しながら、市民や団体の活動の場、交流の場、作業の場としての機能充実を図るとともに、スタッフ事務の効率化を推進していきます。

(5) 図書・資料の充実

市民活動の情報センターとして様々な書籍、資料を配架し、閲覧、貸し出しを通して活動や研究の参考にいただいておりますが、今年度も延べ76冊の書籍の購入や寄贈を受け、図書コーナーに配架しました。主な書籍は下記のとおりです。

「知っておきたいNPO」（日本NPOセンター） /「ファシリテーションが会議・組織・社会を変える」茨城NPOセンター /「理事会を育てる9つのステップ」IIHOE /「あなたの経験をみんなの学びに」エンパブリック /「寄付白書」日本ファンドレイジング協会 /「プロボノ新しい社会貢献新しい働き方」嵯峨生馬 /「子ども食堂をつくろう！」NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 等

評価と課題

今後とも予算措置を施しながら、ニーズや社会背景に対応した図書・資料をそろえ、市民活動の情報センターとしての機能を果たしていきます。

10. 広報部の活動

広報部は、団体活動を市民の方々に紹介するだけでなく、社会を取り巻く様々な課題をタイムリーに捉え、そうした活動の中から市民や多様なセクターが気付きや連携の糸口を得、まちづくりや地域参加のための市民力、地域力向上に貢献できることもねらいの一つとして広報紙「SUPPORT802」を中心に情報発信を行っています。また、今年度多様な人脈、経験を持った広報部長を迎えることができたこと、ライターを担うサポートスタッフ2名の参加を得たことなどにより、取材活動、編集活動をさらに効果的に進めることができました。

(1) 広報紙 SUPPORT802

1) 紙面構成

文章、写真、図など効果的に組み合わせ、手にとって読んでいただける紙面づくりを目指

し、サポートスタッフからの助言を得ながら、デザインコンセプトの転換を図りました。1面・2面は団体への取材をもとに記事を構成し、1面は写真を主体に視覚的に読み手の興味を惹くページとし、2面を団体へのインタビュー記事としました。3面は助成金情報、当センターおよび八王子市民活動協議会からのイベント告知のほか、「まちのスポット」と題した地域情報コーナーを配置。4面はアクティブ市民塾、NPO等団体イベント、ボランティア情報コーナーを設ける形での紙面構成としました。

2) 紙面の内容

農業、福祉、貧困、スポーツなど、多様な分野を特集記事に取り上げました。そして、センター事業については、情報部の「はちコミねっと」、啓発部の「NPOパワーアップ講座」、ファンド部の「人財支援」事業に関する記事を取り上げ、各部と連携することでセンター機能としての総合力発信を心掛けました。また、活動を始めたばかりの団体や掲載を希望する団体の活動を紙面で取り上げ、その活動の活性化をサポートしました。

【評価と課題】

多くの市民の方に市民活動を知る、関わるきっかけを提供するため、「手にとってもらいやすいデザイン」を目指し、特に1面を写真主体のデザインコンセプトに変更しました。引き続き工夫を重ねつつ、デザイン変更による効果を意識しながら、検討を行っていきます。また、広報紙を発行するだけでなく、これを活用しての広報活動にも力を入れるため様々な機会を通じて広報紙を配布し、センターのPRや市民活動への参加のきっかけをつくっていきたくと考えています。

(2) メールマガジン八王子市市民活動支援センターSUPPORT802 だより

掲載内容は、「巻頭言」、「アクティブ市民塾」、「助成金情報」、「イベント情報」、当センター、八王子市民活動協議会、八王子市からの情報を毎月初めに発信しています。特に、「巻頭言」は、その時々タイムリーな話題や、広報紙SUPPORT802と連動するなど個別の情報発信にとどまらず、興味を持って読んでいただく入口の言葉として位置付けています。また、個人では入手しにくい市外の多様な活動も知っていただくことで、個人や団体の活動の幅を広げていただくことも期待しています。

【評価と課題】

広報紙の紙面に盛り込みきれない情報など、メールマガジンならではのコンテンツのあり方を、さらに検討し、市民や団体活動に役立つ情報提供を心がけていきたいと考えています。

(3) 発信情報のチェック体制

様々な情報発信は、正確な取材に基づき、適切な表現、用語の使い方となされることが信頼される情報の基本であることから、収集した情報をスタッフ、サポートスタッフの意見等を反映しながら、紙面づくりを行っています。

【評価と課題】

今後とも、正確な取材、情報収集に基づき、多様な意見、視点で検証し、楽しく、安心して読んでいただける情報発信に取り組んでいきます。

1 1. 啓発部の活動

市民の方と市民活動団体をつなぐアクティブ市民塾、団体の運営基盤強化を狙ったパワーアップ講座をはじめとする支援講座など、多角的に市民活動を支援・周知するためのプログラムを、今年度も実施することができました。多くの講座で定員を上回る反響をいただき、啓発部の企画がニーズに沿ったものになっていることを実感することができました。

種類 (大項目)	講座名	予定	実績	延べ参加者数 (昨年)
アクティブ市民塾	アクティブ市民塾	6回	6回	141 (171)
市民活動支援講座	パワーアップ講座	7回	7回	185 (133)
	NPO研修	1回	1回	8 (16)
	交流会	1回	1回	14 (21)

市民活動実践講座	スキルアップ講座	1回	2回(連続講座)	24	(45)
合計				371	(386)

(1) アクティブ市民塾 (161回～166回)

月日	分野	団体名	タイトル	定員	申込 人	参加 人数
6月7日 (水)	子ども福祉	NPO 法人かたつむり	個性によりそう子育て 発達障害への理解を深める	20	39	35
7月26日 (水)	健康スポーツ	吹矢サークル 「遊矢家」	親子で吹矢体験	20組	23組	17組
8月23日 (水)	環境農業	NPO 法人 すまいるカフェ	親子クッキング 八王子産へビウリ入りカレーづくり	13組	7組	7組
10月29日 (日)	経済	NPO お金と金融・経済知識を学ぶ会	ライフプランとはじめての資産運用	15	25	14
12月3日 (日)	観光	NPO 法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会	続日本100名城 枯葉舞う滝山城跡を歩く	30	44	32
2月24日 (土)	文化農業	里山農業クラブ・メカイ保存普及会	八王子そだちの民俗芸術 目籠(メカイ)作り体験	20	250	20

【評価と課題】

累計 160 回を越えたアクティブ市民塾は、団体と市民の出会いの場だけではなく、イベントの準備を通し、センターのイベント開催のノウハウを団体に伝える効果もあり、年 6 回の開催で準備を団体と丁寧に進めることができました。同時に、団体紹介を複数回での参加も可能にしたことからそれぞれ前回とは異なるテーマ・内容の講座となり、団体の新たな一面を紹介できました。また、講座の受付方法の申込先着順に課題もあることから、市とも相談した結果、定員 50 名を超える規模の講座以外は抽選とすることとしました。

(2) 支援講座 1 (パワーアップ講座)

	開催日	テーマ	講師	参加人数
1	8月10日(木) 14:00～16:30	居心地のよい組織の作り方	長田英史さん (NPO 法人れんげ舎代表理事)	26
2	9月21日(木) 14:00～16:30	仲間の増やし方	長田英史さん (NPO 法人れんげ舎代表理事)	29
3	10月18日(水) 14:00～16:30	情報発信の重要性と効果的な発信方法	手塚明美さん(認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 副理事長・事務局長)	28
4	11月16日(木) 14:00～16:30	人が集まる講座とチラシの作り方	坂田静香さん(NPO 法人男女共同参画おおた 理事長)	44
5	12月14日(木) 14:00～16:30	NPO を支えるお金	小堀悠さん(NPO 法人 NPO サポートセンター事務局長)	21
6	1月18日(木) 10:00～16:30	審査員の視点から学ぶ 助成金申請書の書き方	小堀悠さん(NPO 法人 NPO サポートセンター事務局長)	18
7	2月8日(木) 14:00～17:00	NPO が目指すもの	長浜洋二さん (株式会社 PubliCo)	19

【評価と課題】

より多くの方が快適に参加できるよう外部会場を利用し、人が集まり活動を行う際に必要な視点「人・情報発信・お金」をテーマに講座を組み立てました。これにより、法人格

を持った団体から、ボランティアグループまで、多様な団体活動の運営基盤強化につながる連続講座にすることができました。課題として、各団体 2 名まで参加可能とすることで当日の出席人数にばらつきが出ることもあり、座席配置やワークショップのなどの組み立てに工夫が必要となることもあり、今後とも円滑な講座運営を検討していきたい。

(3) 支援講座 2 (NPO 研修)

開催日	テーマ	講師	定員	申込人数	参加人数
11 月 25 日 (土)	団体内の情報共有に Facebook を活用する	情報部長 田中英俊さん	5 団体	8 団体 (10 名)	7 団体 (8 名)

【評価と課題】

情報発信のツールのひとつとして Facebook が挙げられますが、団体内の情報共有のツールとして Facebook を活用するという講座を実施しました。パソコン実習を伴う講座によくある課題として、持ち込み PC がうまく動かない、受講者の技術レベルに大きな差があるなどがありました。それを想定し少人数の講座でしたが、今後とも円滑に講座運営ができるよう検討します。

(4) 支援講座 3 (交流会)

開催日	テーマ	参加者数
3 月 11 日(日)	パワーアップ講座受講団体・者の交流会	1 部 14 名 2 部 13 名
対 象	これまでのパワーアップ講座受講団体・個人	
内 容	パワーアップ講座で学んだことを取り入れた (成功) 事例の紹介 / 参加団体 (者) のアピール・紹介 困りごと相談 最新情報共有 懇親会	

【評価と課題】

パワーアップ講座を始めて 4 年が経ちましたが、この講座は連続講座ならではの受講生同士の交流・情報交換の場ともなっています。年度を超えた受講者の交流会を開催し、類似の活動をしている団体同士の連携のきっかけ創出や団体の新たな試みを知るとともに、講座での学びを活かしている事例の紹介など有意義な交流会となりました。

(5) 実践講座 1 (スキルアップ研修)

開催日	テーマ	講師	定員	申込人数	参加人数
6 月 4 日 (日)	ライター講座 (1 回目) ライター講座 (2 回目)	日経 HR 宮崎悟さん	各 10 名	33 名	24 名

【評価と課題】

活動を行うことに忙しく、情報発信をしていない、あるいは得意としていない団体が多いのが実状です。一方、自身は社会貢献活動を行っていないが、書くことが好き、あるいは得意としている人達があります。こうした方々に団体を紹介してもらうことで団体の活動を広めることができると考え、ライター講座を開催しました。多数の応募があり予想を上回る反響がありました。現在、外部サポーターとして 2 名の受講生が支援センターの広報紙やイベント報告作成に参加し、1 名の方が、自身に関わるあるウェブ記事のテーマに市民活動を取り上げるなどの活躍をされています。

12. 情報部の活動

市民や団体に的確でわかりやすく情報を伝えるため二つの仕組みを構築しています。地域コミュニティ活動応援サイトとしての【はちコミねっと】は団体活動の投稿型ソーシャルメディアとして、ホームページは団体活動向けの情報アーカイブとして機能しています。今年度も利用利便性の向上を図るべく継続的な改良を施しました。センター内の ICT 環境の整備では、八王子市の指定管理者情報セキュリティガイドラインに沿いウイルス対策、個人情報対策、ID とパスワードの管理を強化しました。

(1) ホームページの維持・更新

前年度の大幅リニューアルを経て、今年度はその運用において現れたさらなる改善点および、不具合、表示文言の変更など約 30 項目の改良作業を実施いたしました。

【評価と課題】

改良を重ねることにより、一定の完成度レベルまで到達したと考えられますが、今後は急増するスマホユーザー向けの対応、そして Facebook や紙媒体などとのメディアミックスによる支援センターの認知度向上が必要と考えています。

(2) 【はちコミねっと】の活性化

登録団体数も順調に増え、このサイトを利用した情報発信も全団体の 40%に達し、他市の同種サイトを大きく上回る利用が見られます。

【評価と課題】

利用者である市民や団体から特段のクレームもなく、順調に活用されていると思いますが、今後のさらなる普及展開に関しては、地道な啓蒙活動と ICT リテラシー教育を併用して行っていますが、今年度の八王子市市民企画事業補助金の募集要項に助成を受けた団体は【はちコミねっと】に登録、活用が明記されたことで利活用が活発になる仕組みの構築が進んでいます。そして、支援センターのホームページと同様、メディアミックス戦略が有効と思われる、メルマガ会員の増加も課題と認識しています。また、利用利便性やシステム上の課題も残っており、今後とも、八王子市と相談しながら検討を重ねてまいります。

(3) 職場内 ICT 環境の整備

八王子市の指定管理者情報セキュリティガイドラインに沿い、ネットサービスの運用ルール、メールの運用ルール、ファイルサーバーのセキュリティを強化しました。また重要な業務データをランサムウェアから守る方策を実施しました。また、スタッフの業務効率化を図るための高速化方策を実施しました。

【評価と課題】

まだいくつかの業務用パソコンや、貸出用パソコンも性能レベルにおいて改善が求められるものがあることから、予算措置を施しながら今後検討していきます。

13. ファンド部活動

(1) 物品支援

寄付件数は団体、個人、企業からの 3 件（平均 9 回）、提供は 17 件（平均 2.4 件）で、物品としては寄付・提供ともに机、椅子、家具類が主となっています。

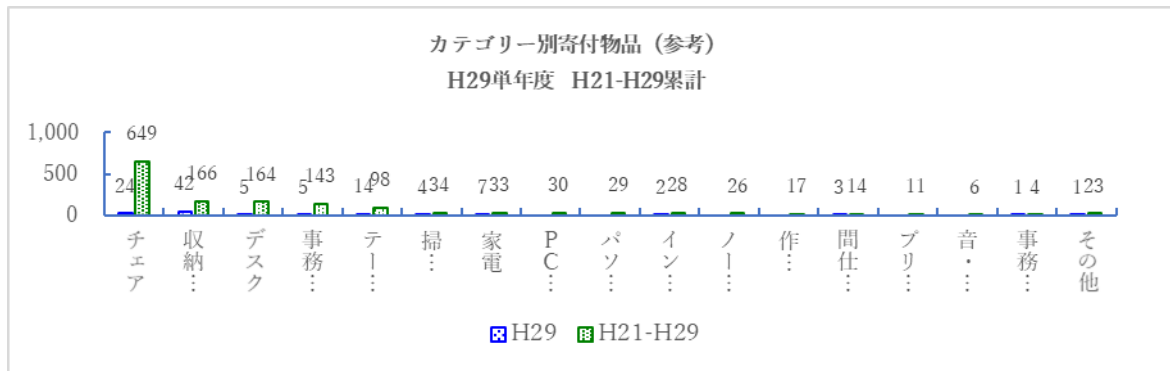
1) 寄付・提供数量の推移(個)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計
寄 付	156	445	366	123	37	487	334	150	108	2,206
提 供	21	130	295	241	164	508	80	143	179	1,761

2) 寄付・提供件数の推移(件)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計
寄 付	9	6	8	6	13	23	5	9	3	82
提 供	34	26	20	36	13	32	22	14	17	214

3) 寄付・提供物件



【評価と課題】

年度はじめに机、椅子などの在庫品に団体から多くの需要があり、その結果在庫品が激減したため、北八王子工業団地を中心に新規企業の開拓を行いました結果に結びつきませんでした。しかし、年度末に東京都心の企業より大量に寄付いただけたことで団体ニーズに対応することができました。課題として、今後とも寄付者に対してCSR活動や「物」有効活用に訴求するとともに、団体活動へ提供後の利活用状況を報告することでファンド事業や寄付行為への賛同を得ていきたいと考えています。

(2) 人財支援

引き続き特定非営利活動法人サービスグラントのアドバイス等得ながら、今年度も2団体の課題の伴奏支援に取り組みました。また、他市からの人財支援の取り組みについて来館ヒヤリングがあり、昨年の福山市、吹田市に続き、小平市民活動ネットワーク（小平市）や四日市市民協働安全課に対応しましたが、市民活動における人材支援の広がりを感じています。また、明治学院大学で開催された東京ホームタウンプロジェクト（ホームタウン大学）で今年度実施した2件の事例報告を行いました。

1) 支援実績

①障害者福祉団体の「業務課題の整理と商品開発」について

作業環境の改善（整理整頓）を中心に、布生地など在庫を活かした幾つかの製品開発を提案をいたしました。

【評価と課題】

プロボノワーカーからの様々なアイデアに新たな気づきを感じて頂きました。一方で、大きなテーマであった業務課題の整理は団体の現状とワーカーの認識の違いもあり十分な成果を出せなかった点は、プロボノ支援事業として今後活かしていきます。

②環境保全団体のホームページの改善

専門知識がないとメンテ更新がし難い現行ホームページを情報発信や更新がし易い方式にしたいという課題に取り組みました。団体スタッフとの協議を重ね、ワードプレス形式を取り入れました。

【評価と課題】

ホームページの発信力の必要性や効果への理解が進んだことや複数のメンバーが関わられるようになったことで、従来の年間2～3回であった更新が、2ヶ月で10回以上の更新、掲載が行われるなどホームページの活性化に結び付きました。

3) プロボノワーカー登録

プロボノワーカーへの新規登録は6名で、登録者数は21名となりました。今年度は明星大学、東京高専、武蔵野美術大学を訪問し、学生のプロボノワーカーの勧誘も行いました。また、登録ワーカーとの関係性維持や今後の取り組みについての情報交換会を開催しました。今後とも多様な人財の登録に取り組んでいきます。

4) 支援団体の開拓

今年度2団体のサポートでしたが、支援センター窓口相談業務、専門相談との連携による団体の発掘やプロボノ事業（人財支援）に関するイベントを開催しながら、事業の認知度を高めさらに利用していただける事業を目指していきます。

(3) CANPAN 団体情報

新たに6団体が登録、前年度42団体から48団体に増加しました。また、規定によりCANPAN情報開示レベ★★★★以上のゆめおりファンド認証団体3団体に「認証盾」を贈呈しました。

1) ゆめおりファンド参加団体と八王子市内のCANPAN登録団体の年度別推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
八王子全体	39	44	62	80	87	100	111	127	139
ゆめおりファンド	17	25	32	37	38	41	43	42	48

2) ゆめおりファンド参加団体と八王子市内のCANPAN登録団体の情報開示レベル

情報開示レベル	ゆめおりファンド	八王子全体
★★★★★	2	4
★★★★	2	9
★★★	1	2
★★	9	26
★	34	98
計	48	139

【評価と課題】

団体活動情報公開の必要性と有効性の理解を得つつ、引き続き「ゆめおりファンド事業」の情報発信を進め、登録団体の増加を目指します。

以 上